

# 「男女共同参画社会」に関する アンケート 集計結果

平成27(2015)年度  
調査時期：平成27年5月

寒川町

基本情報

調査対象者

寒川町在住の満20才以上の男女1,000人

抽出方法

無作為抽出（ただし男女同数）

調査方法

郵送による配布、郵送による回収

調査期間

平成27年4月20日～5月13日

回答していただいた調査票

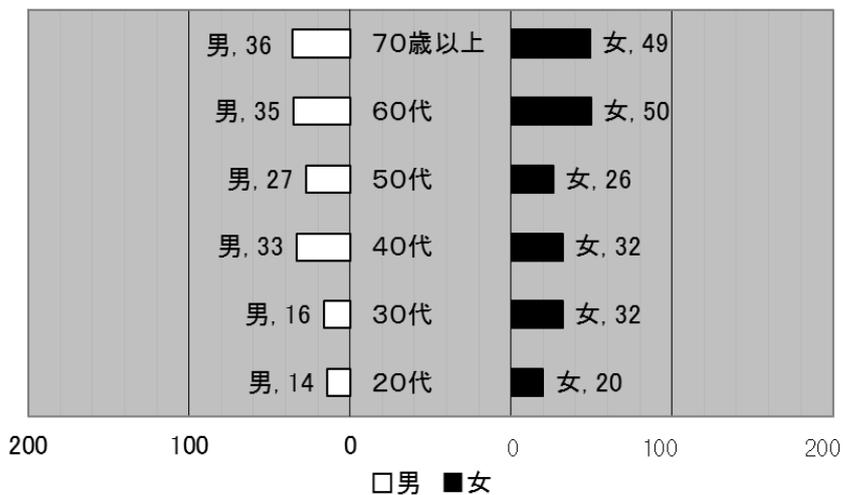
370通 回答率 37%

問1 あなたの性別は。

問2 あなたの年齢は。

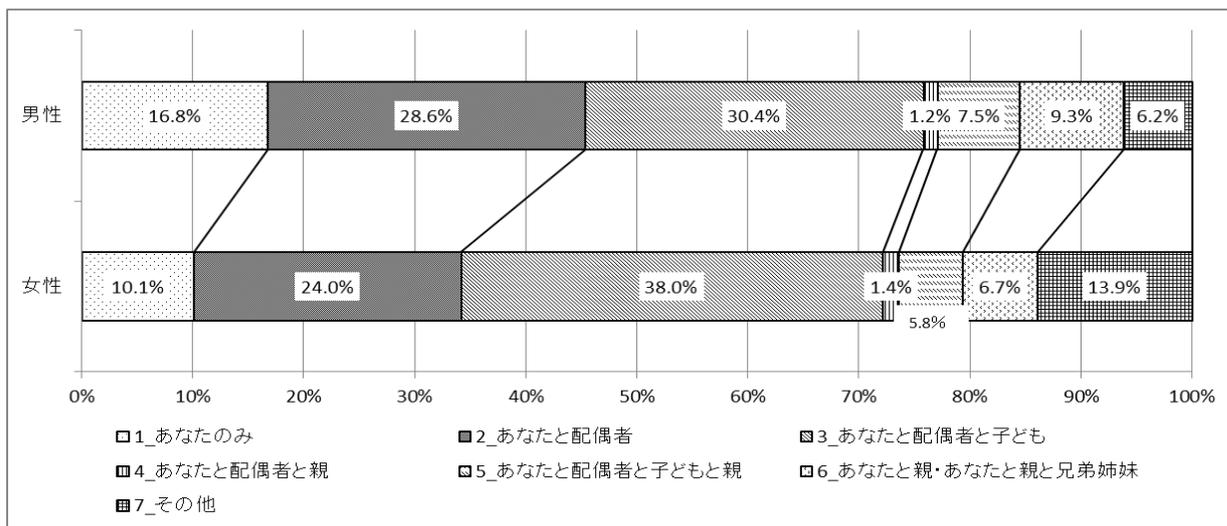
性別・年代	男	女	構成比	
20代	14	20	9.2%	
30代	16	32	13.0%	
40代	33	32	17.6%	
50代	27	26	14.3%	
60代	35	50	23.0%	
70歳以上	36	49	23.0%	
小計	161	209	43.5%	56.5%
合計	370		100%	

年代別男女



回答者の56.5%が女性であり、町人口構成比と比べて女性の方がやや多く、男女とも60代、70歳以上の回答が多かった。

問3 現在の家族構成は。

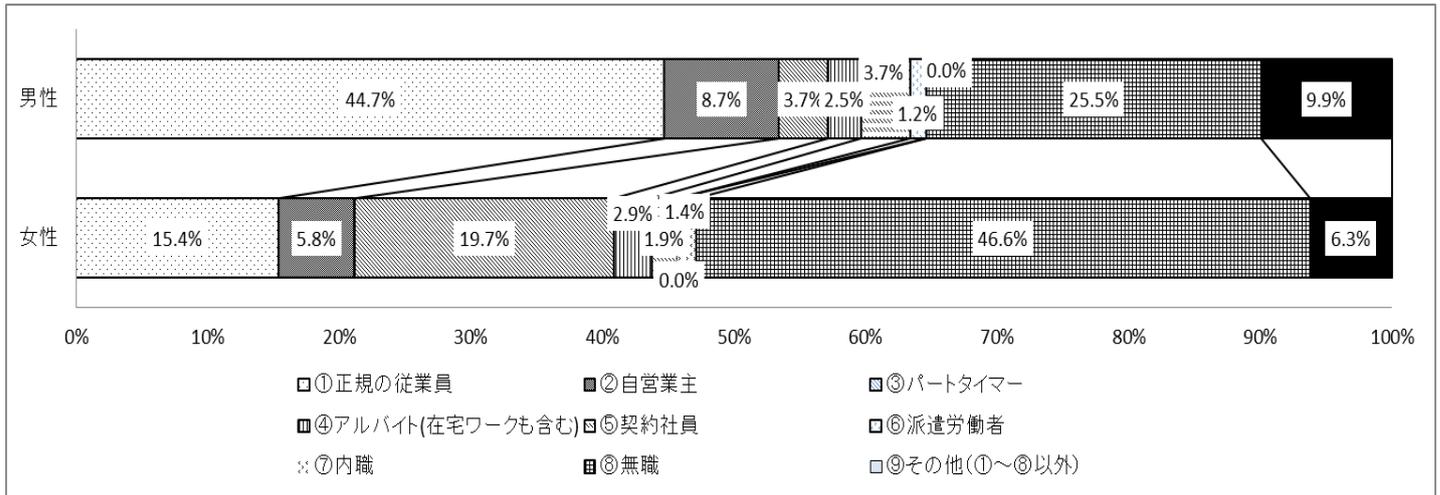


家族構成	男性	女性
1_あなたのみ	16.8%	10.1%
2_あなたと配偶者	28.6%	24.0%
3_あなたと配偶者と子ども	30.4%	38.0%
4_あなたと配偶者と親	1.2%	1.4%
5_あなたと配偶者と子どもと親	7.5%	5.8%
6_あなたと親・あなたと親と兄弟姉妹	9.3%	6.7%
7_その他	6.2%	13.9%

男女とも「あなたと配偶者と子ども」の家族構成が最も多かった。

(人数) (161) (208)

問4 あなたの就業形態を教えてください。(1つ選択)

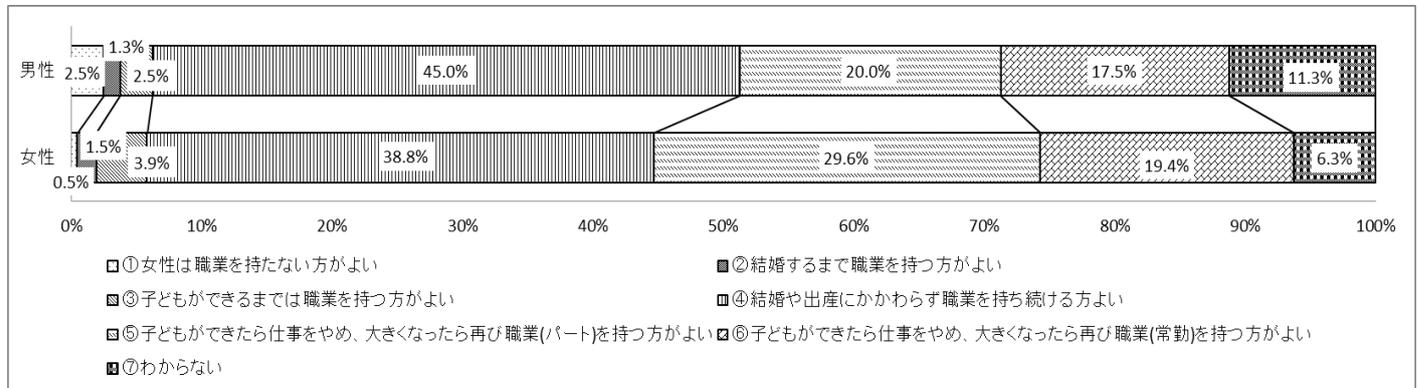


就業形態	男性	女性
①正規の従業員	44.7%	15.4%
②自営業主	8.7%	5.8%
③パートタイマー	3.7%	19.7%
④アルバイト(在宅ワークも含む)	2.5%	2.9%
⑤契約社員	3.7%	1.9%
⑥派遣労働者	1.2%	0.0%
⑦内職	0.0%	1.4%
⑧無職	25.5%	46.6%
⑨その他(①~⑧以外)	9.9%	6.3%

(人数) (161) (208)

正規の従業員の割合は男性が女性の約3倍。働いている女性の内訳では、パートタイマーが多く次に正規の従業員が多い。

問5 女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。(1つ選択)

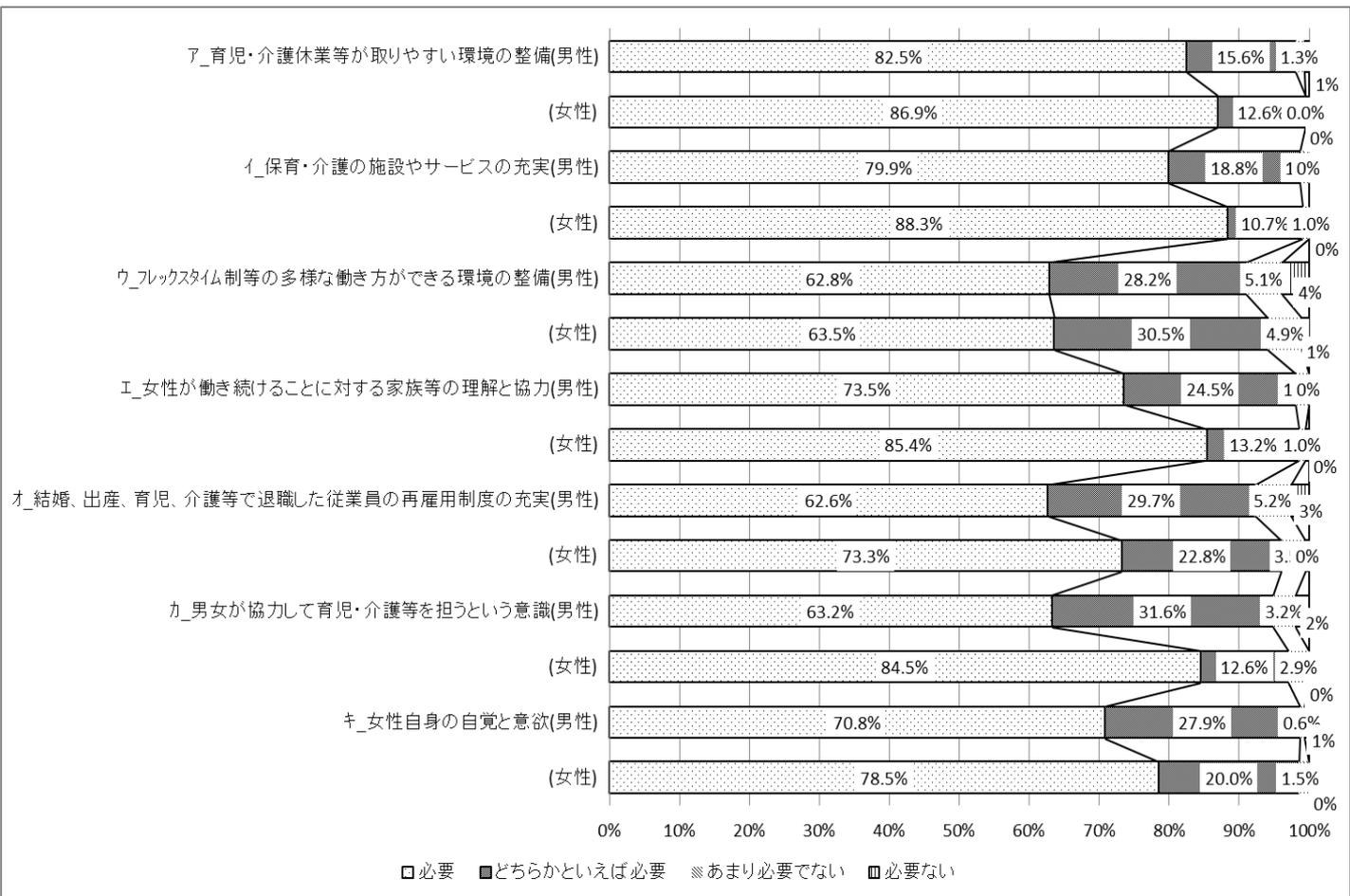


女性が職業を持つことについて	男性	女性
①女性は職業を持たない方がよい	2.5%	0.5%
②結婚するまで職業を持つ方がよい	1.3%	1.5%
③子どもができるまでは職業を持つ方がよい	2.5%	3.9%
④結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい	45.0%	38.8%
⑤子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業(パート)を持つ方がよい	20.0%	29.6%
⑥子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業(常勤)を持つ方がよい	17.5%	19.4%
⑦わからない	11.3%	6.3%

(人数) (160) (206)

男女とも、④「結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい」が最も多く、特に男性は平成21年度調査の32%から大幅に上昇した。男性の意識も女性の就業を肯定的にとらえる方向に着実に変化している。また、「子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」という考えは、パート・常勤を合わせると、「職業を持ち続けるほうがよい」よりも多く、女性の再就職を支援する考えが多いことがうかがえる。

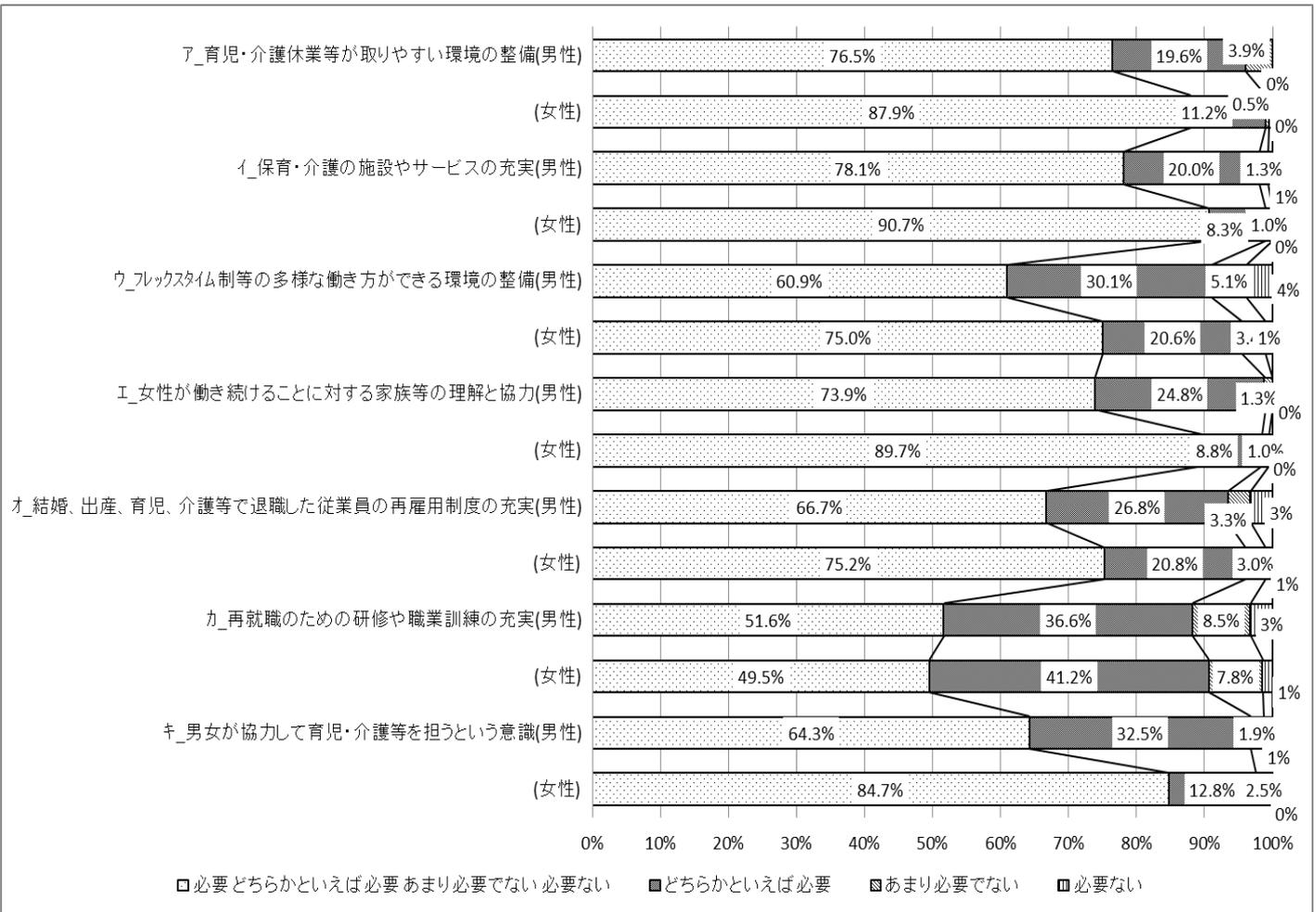
問6 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(各項目1つ選択)



女性が働き続けるために必要なこと	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	(人数計)
ア_育児・介護休業等が取りやすい環境の整備(男性)	82.5%	15.6%	1.3%	1%	(154)
(女性)	86.9%	12.6%	0.0%	0%	(206)
イ_保育・介護の施設やサービスの充実(男性)	79.9%	18.8%	1.3%	0%	(154)
(女性)	88.3%	10.7%	1.0%	0%	(206)
ウ_フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境の整備(男性)	62.8%	28.2%	5.1%	4%	(156)
(女性)	63.5%	30.5%	4.9%	1%	(203)
エ_女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力(男性)	73.5%	24.5%	1.9%	0%	(155)
(女性)	85.4%	13.2%	1.0%	0%	(203)
オ_結婚、出産、育児、介護等で退職した従業員の再雇用制度の充実(男性)	62.6%	29.7%	5.2%	3%	(155)
(女性)	73.3%	22.8%	3.5%	0%	(205)
カ_男女が協力して育児・介護等を担うという意識(男性)	63.2%	31.6%	3.2%	2%	(155)
(女性)	84.5%	12.6%	2.9%	0%	(206)
キ_女性自身の自覚と意欲(男性)	70.8%	27.9%	0.6%	1%	(154)
(女性)	78.5%	20.0%	1.5%	0%	(205)

女性は、㊦「育児・介護休業等が取りやすい環境の整備」と並んで㊥「女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力」が必要と考える割合が高い。女性が働き続けるために、家族や周囲の理解と協力がいかに重要であるかがわかる。

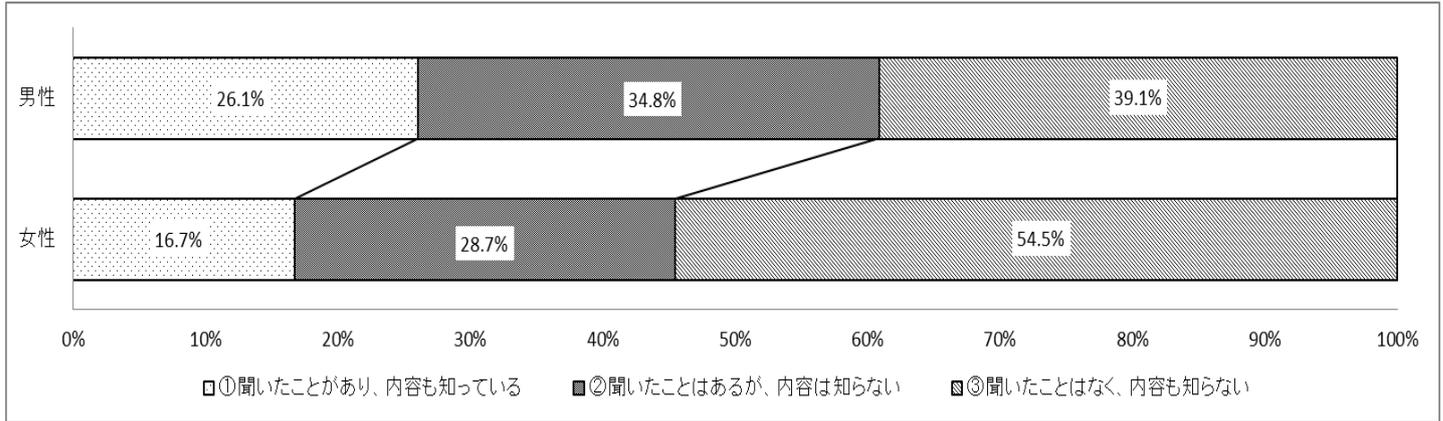
問7 女性が再就職しやすくするためにどのようなこと必要だと思いますか。(各項目1つ選択)



女性が再就職しやすくするために必要なこと	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	(人数)
ア_育児・介護休業等が取りやすい環境の整備(男性)	76.5%	19.6%	3.9%	0%	(153)
(女性)	87.9%	11.2%	0.5%	0%	(206)
イ_保育・介護の施設やサービスの充実(男性)	78.1%	20.0%	1.3%	1%	(155)
(女性)	90.7%	8.3%	1.0%	0%	(204)
ウ_フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境の整備(男性)	60.9%	30.1%	5.1%	4%	(156)
(女性)	75.0%	20.6%	3.4%	1%	(204)
エ_女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力(男性)	73.9%	24.8%	1.3%	0%	(157)
(女性)	89.7%	8.8%	1.0%	0%	(204)
オ_結婚、出産、育児、介護等で退職した従業員の再雇用制度の充実(男性)	66.7%	26.8%	3.3%	3%	(153)
(女性)	75.2%	20.8%	3.0%	1%	(202)
カ_再就職のための研修や職業訓練の充実(男性)	51.6%	36.6%	8.5%	3%	(153)
(女性)	49.5%	41.2%	7.8%	1%	(204)
キ_男女が協力して育児・介護等を担うという意識(男性)	64.3%	32.5%	1.9%	1%	(154)
(女性)	84.7%	12.8%	2.5%	0%	(203)

理解・協力といった意識的な要素については、男性の方が「必要」と思っている割合が非常に低い

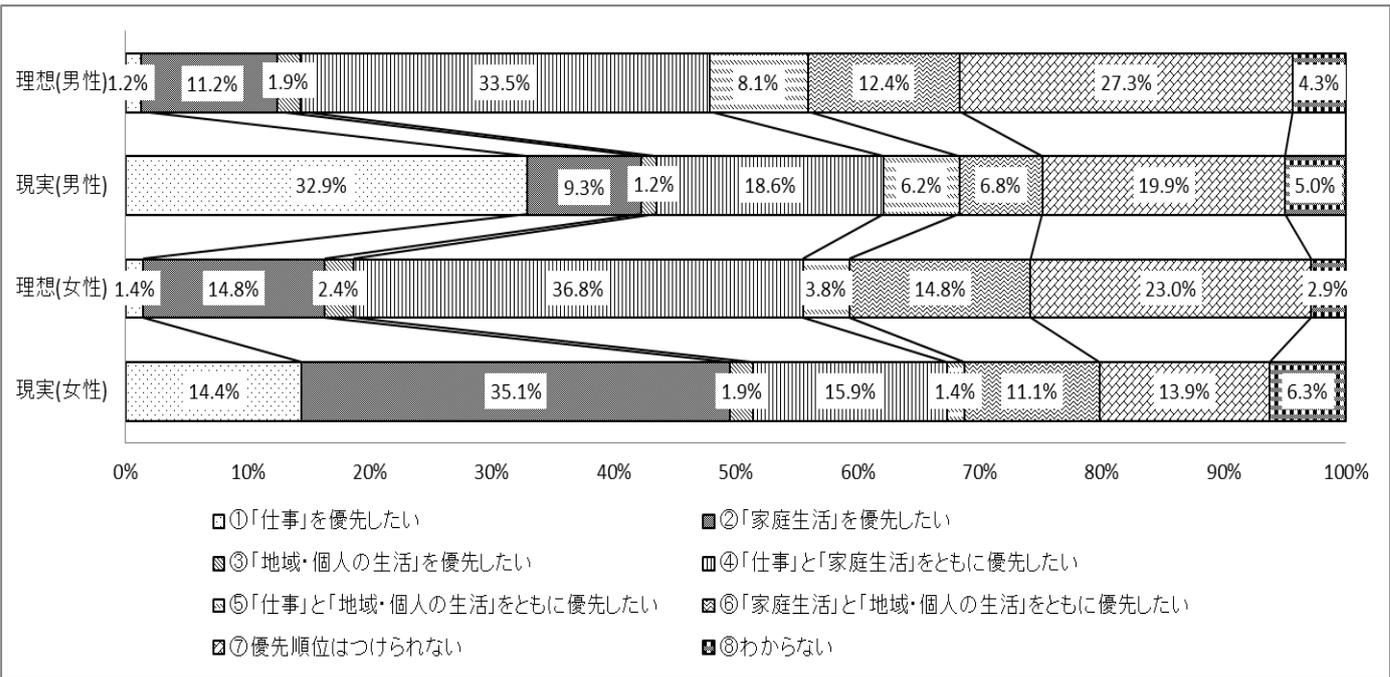
問8 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」について知っていますか。(1つ選択)



「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」について知っていますか		
	男性	女性
①聞いたことがあり、内容も知っている	26.1%	16.7%
②聞いたことはあるが、内容は知らない	34.8%	28.7%
③聞いたことはなく、内容も知らない	39.1%	54.5%
(人数)	(161)	(209)

内容についての認知度は、男女ともに非常に低く、言葉の周知についてもまだ十分とは言えないが、男性の①「聞いたことがあり、内容も知っている」は前回調査時17%に比べ9.1%上昇した。

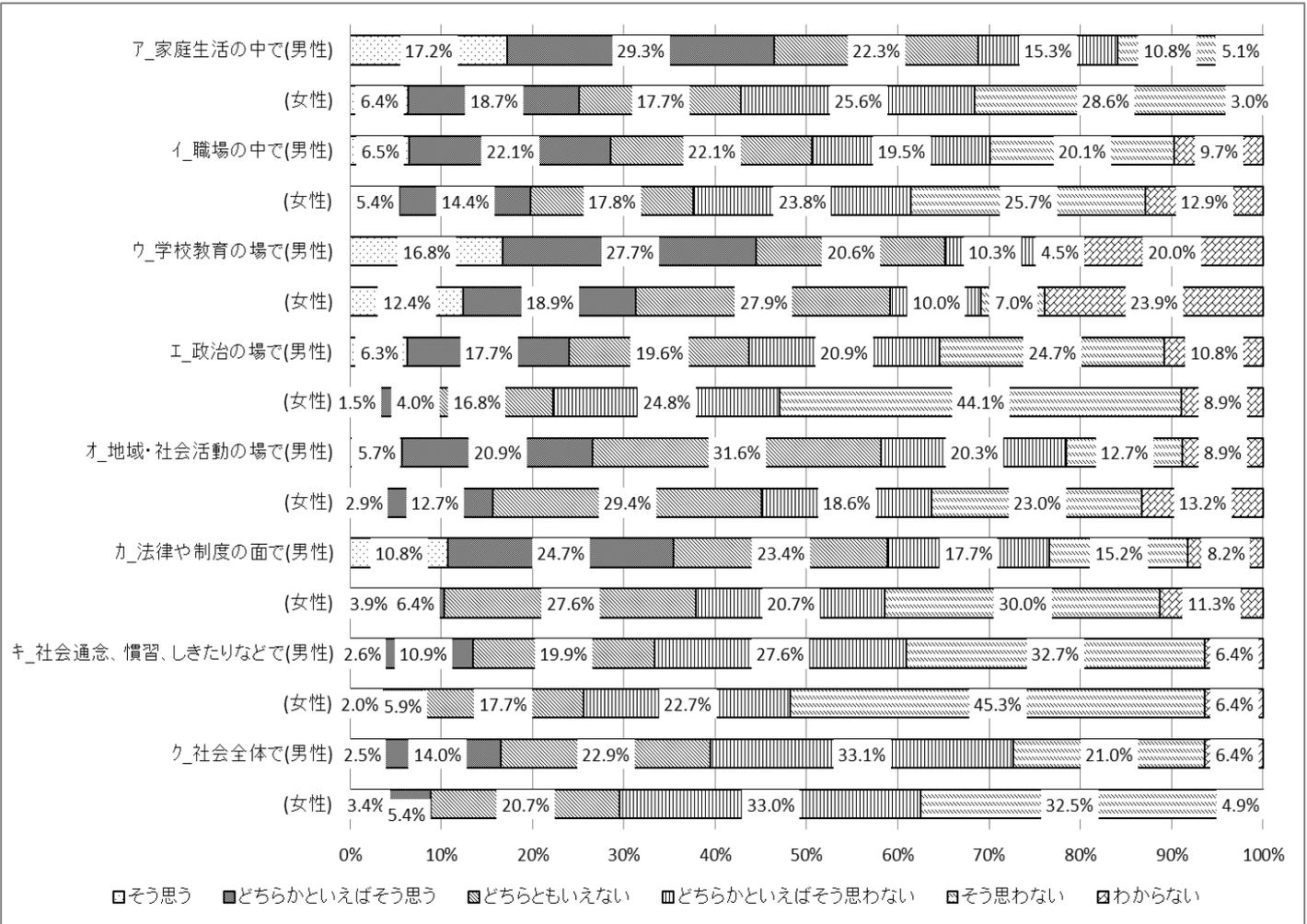
問9 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方の理想と現実について(それぞれ1つ選択)



「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方の理想と現実					
	理想(男性)	現実(男性)	理想(女性)	現実(女性)	
①「仕事」を優先したい	1.2%	32.9%	1.4%	14.4%	
②「家庭生活」を優先したい	11.2%	9.3%	14.8%	35.1%	
③「地域・個人の生活」を優先したい	1.9%	1.2%	2.4%	1.9%	
④「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	33.5%	18.6%	36.8%	15.9%	
⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	8.1%	6.2%	3.8%	1.4%	
⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	12.4%	6.8%	14.8%	11.1%	
⑦優先順位はつけられない	27.3%	19.9%	23.0%	13.9%	
⑧わからない	4.3%	5.0%	2.9%	6.3%	
	(人数)	(209)	(161)	(209)	(208)

④「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいとする割合は男女とも理想に対し現実のほうが少なく、男性は現実として①「仕事」が優先、女性は②「家庭生活」が優先される。

問10 男女の平等感について次の場面で男女が平等になっていると思いますか。(各項目1つ選択)

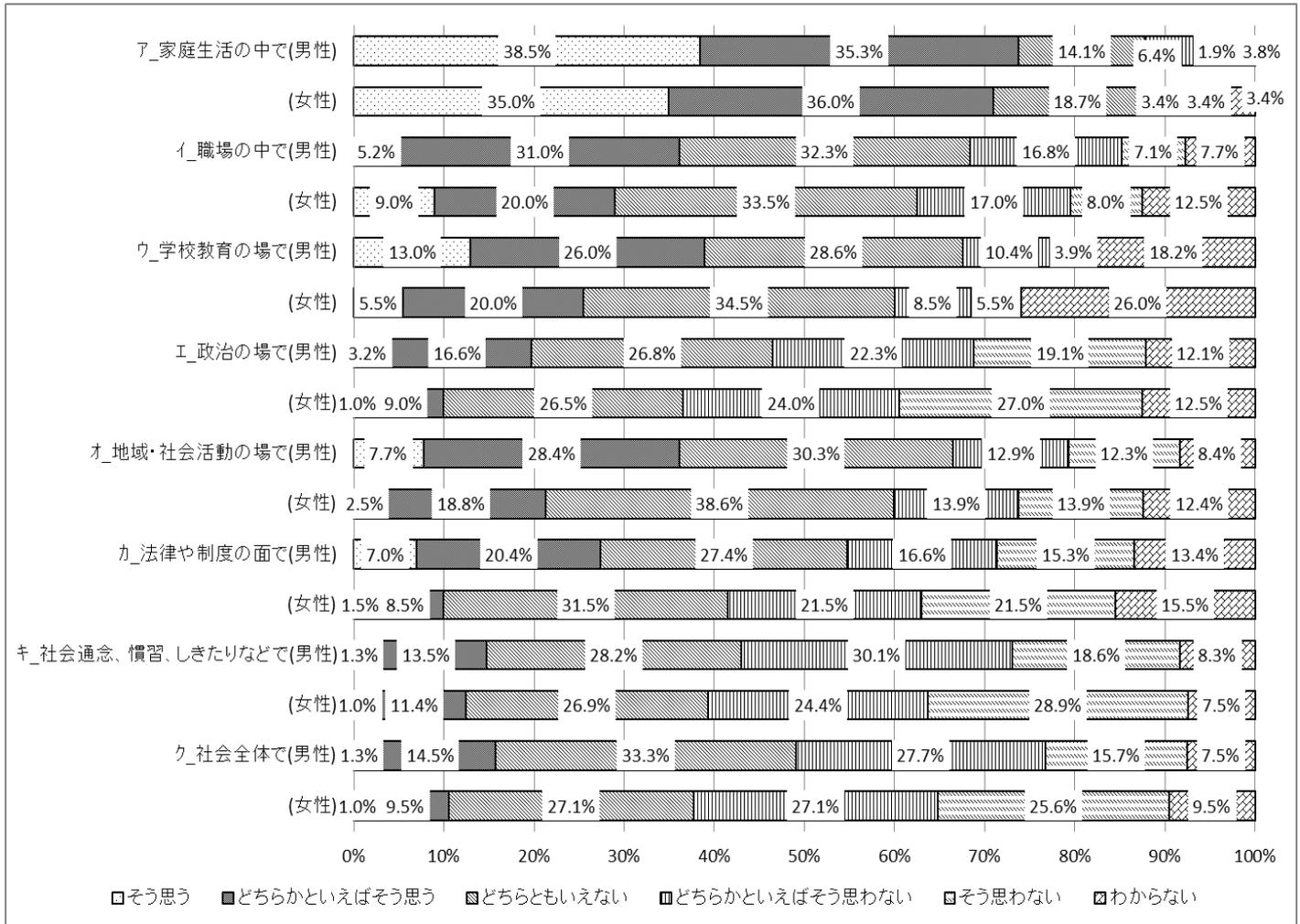


次の場面で男女が平等になっていると思いますか

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	(人数)
ア_家庭生活の中で(男性)	17.2%	29.3%	22.3%	15.3%	10.8%	5.1%	(157)
(女性)	6.4%	18.7%	17.7%	25.6%	28.6%	3.0%	(203)
イ_職場の中で(男性)	6.5%	22.1%	22.1%	19.5%	20.1%	9.7%	(154)
(女性)	5.4%	14.4%	17.8%	23.8%	25.7%	12.9%	(202)
ウ_学校教育の場で(男性)	16.8%	27.7%	20.6%	10.3%	4.5%	20.0%	(155)
(女性)	12.4%	18.9%	27.9%	10.0%	7.0%	23.9%	(201)
エ_政治の場で(男性)	6.3%	17.7%	19.6%	20.9%	24.7%	10.8%	(158)
(女性)	1.5%	4.0%	16.8%	24.8%	44.1%	8.9%	(202)
オ_地域・社会活動の場で(男性)	5.7%	20.9%	31.6%	20.3%	12.7%	8.9%	(158)
(女性)	2.9%	12.7%	29.4%	18.6%	23.0%	13.2%	(204)
カ_法律や制度の面で(男性)	10.8%	24.7%	23.4%	17.7%	15.2%	8.2%	(158)
(女性)	3.9%	6.4%	27.6%	20.7%	30.0%	11.3%	(203)
キ_社会通念、慣習、しきたりなどで(男性)	2.6%	10.9%	19.9%	27.6%	32.7%	6.4%	(156)
(女性)	2.0%	5.9%	17.7%	22.7%	45.3%	6.4%	(203)
ク_社会全体で(男性)	2.5%	14.0%	22.9%	33.1%	21.0%	6.4%	(157)
(女性)	3.4%	5.4%	20.7%	33.0%	32.5%	4.9%	(203)

④「社会通念、慣習、しきたりなどで」と⑤「政治の場で」において男女が平等になっていると思わない割合が高く、また全体を通じて男性より女性の方が男女平等になっていると「思わない」という割合が高い

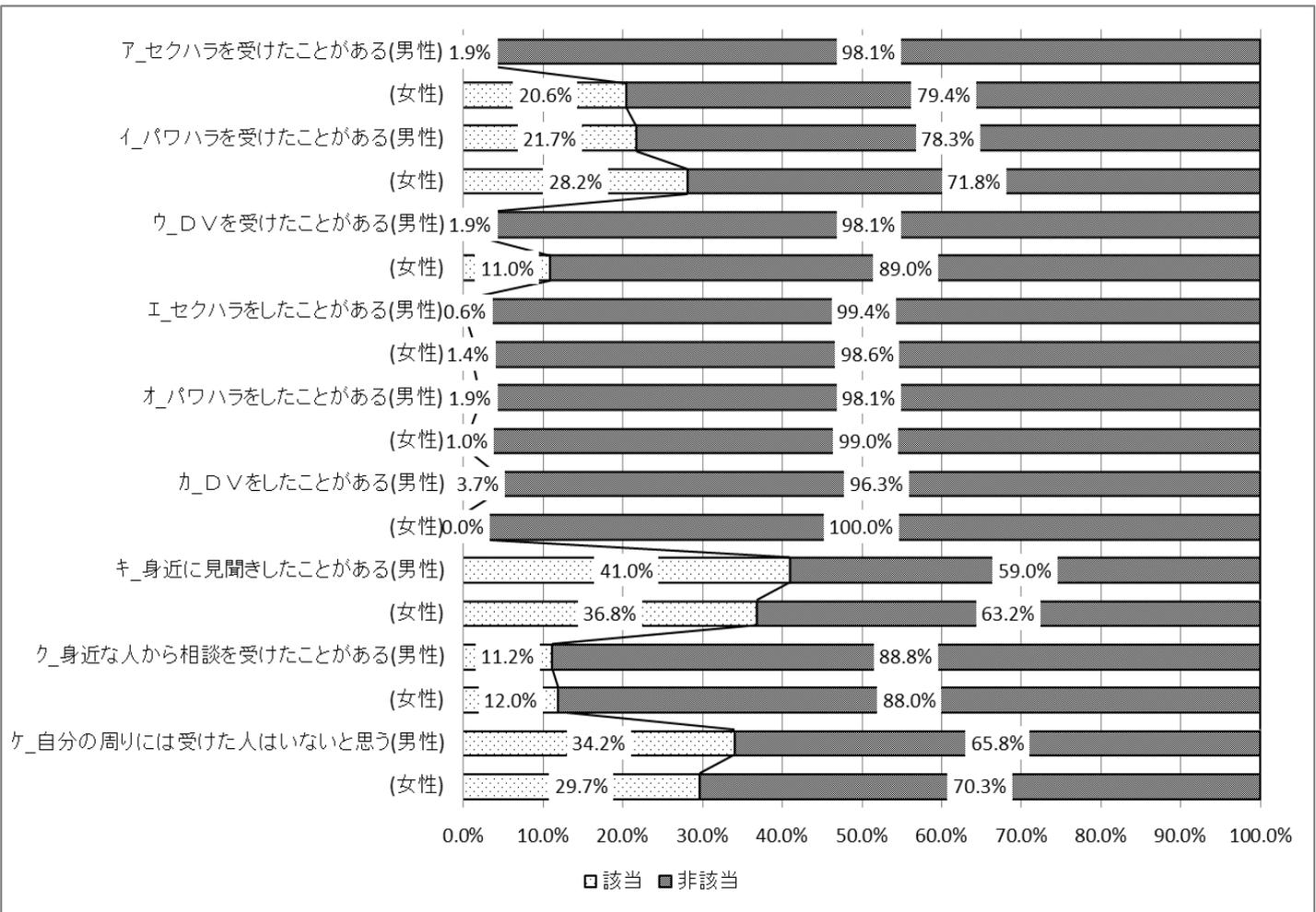
問11 女性の能力は十分に活用されているか(各項目1つ選択)



女性の能力は十分に活用されているか	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	(人数計)
ア_家庭生活の中で(男性)	38.5%	35.3%	14.1%	6.4%	1.9%	3.8%	(156)
(女性)	35.0%	36.0%	18.7%	3.4%	3.4%	3.4%	(203)
イ_職場の中で(男性)	5.2%	31.0%	32.3%	16.8%	7.1%	7.7%	(155)
(女性)	9.0%	20.0%	33.5%	17.0%	8.0%	12.5%	(200)
ウ_学校教育の場で(男性)	13.0%	26.0%	28.6%	10.4%	3.9%	18.2%	(154)
(女性)	5.5%	20.0%	34.5%	8.5%	5.5%	26.0%	(200)
エ_政治の場で(男性)	3.2%	16.6%	26.8%	22.3%	19.1%	12.1%	(157)
(女性)	1.0%	9.0%	26.5%	24.0%	27.0%	12.5%	(200)
オ_地域・社会活動の場で(男性)	7.7%	28.4%	30.3%	12.9%	12.3%	8.4%	(155)
(女性)	2.5%	18.8%	38.6%	13.9%	13.9%	12.4%	(202)
カ_法律や制度の面で(男性)	7.0%	20.4%	27.4%	16.6%	15.3%	13.4%	(157)
(女性)	1.5%	8.5%	31.5%	21.5%	21.5%	15.5%	(200)
キ_社会通念、慣習、しきたりなどで(男性)	1.3%	13.5%	28.2%	30.1%	18.6%	8.3%	(156)
(女性)	1.0%	11.4%	26.9%	24.4%	28.9%	7.5%	(201)
ク_社会全体で(男性)	1.3%	14.5%	33.3%	27.7%	15.7%	7.5%	(159)
(女性)	1.0%	9.5%	27.1%	27.1%	25.6%	9.5%	(199)

㊦「家庭生活の中で」を除き、女性の能力が十分に活用されていると思う割合は、総じて低くなっている。

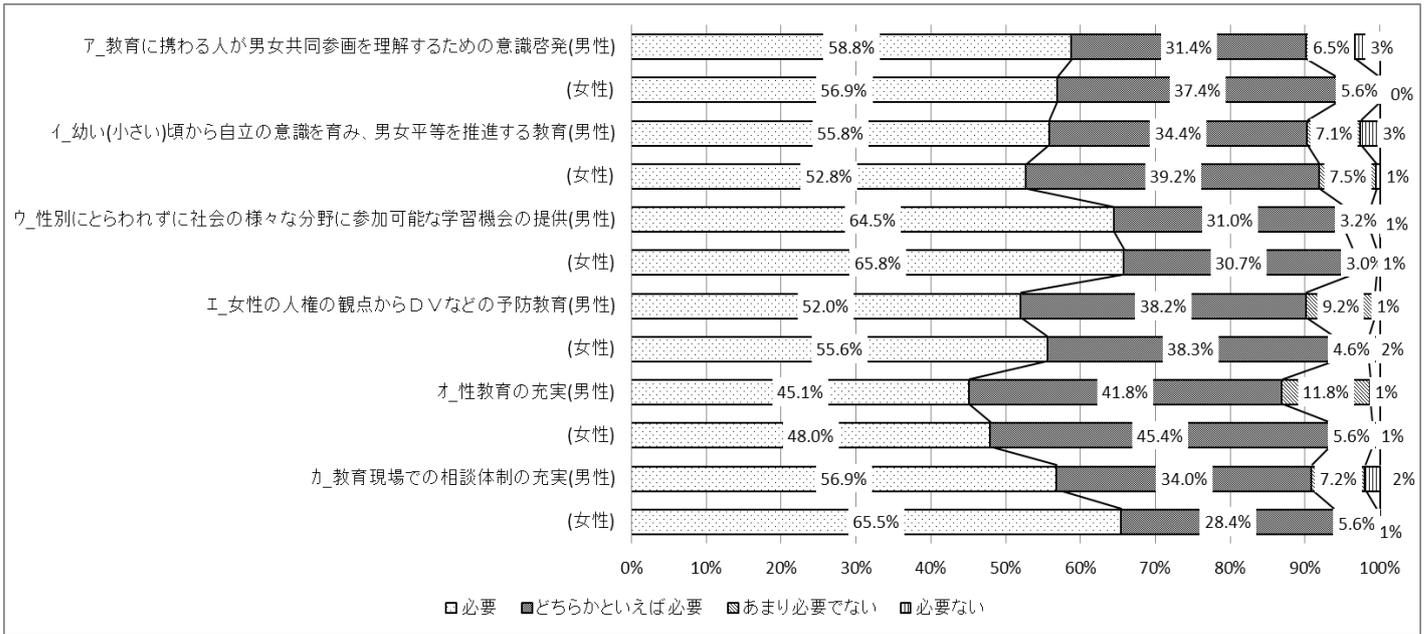
問12 職場・地域・学校・家庭などでのセクハラ、パワハラ、DVについて(複数可)



職場・地域・学校・家庭などでのハラスメント等	該当	非該当	(人数計)
ア_セクハラを受けたことがある(男性)	1.9%	98.1%	(161)
(女性)	20.6%	79.4%	(209)
イ_パワハラを受けたことがある(男性)	21.7%	78.3%	(161)
(女性)	28.2%	71.8%	(209)
ウ_DVを受けたことがある(男性)	1.9%	98.1%	(161)
(女性)	11.0%	89.0%	(209)
エ_セクハラをしたことがある(男性)	0.6%	99.4%	(159)
(女性)	1.4%	98.6%	(211)
オ_パワハラをしたことがある(男性)	1.9%	98.1%	(161)
(女性)	1.0%	99.0%	(209)
カ_DVをしたことがある(男性)	3.7%	96.3%	(161)
(女性)	0.0%	100.0%	(209)
キ_身近に見聞きしたことがある(男性)	41.0%	59.0%	(161)
(女性)	36.8%	63.2%	(209)
ク_身近な人から相談を受けたことがある(男性)	11.2%	88.8%	(161)
(女性)	12.0%	88.0%	(209)
ケ_自分の周りには受けた人はいないと思う(男性)	34.2%	65.8%	(161)
(女性)	29.7%	70.3%	(209)

セクハラやパワハラ、DVを「身近に見聞きしたことがある」という割合が、男性41%女性36.8%あり、これらがごく身近に存在している問題であることがうかがわれる。前回調査(男性23%、女性26%)より大幅に上昇している。

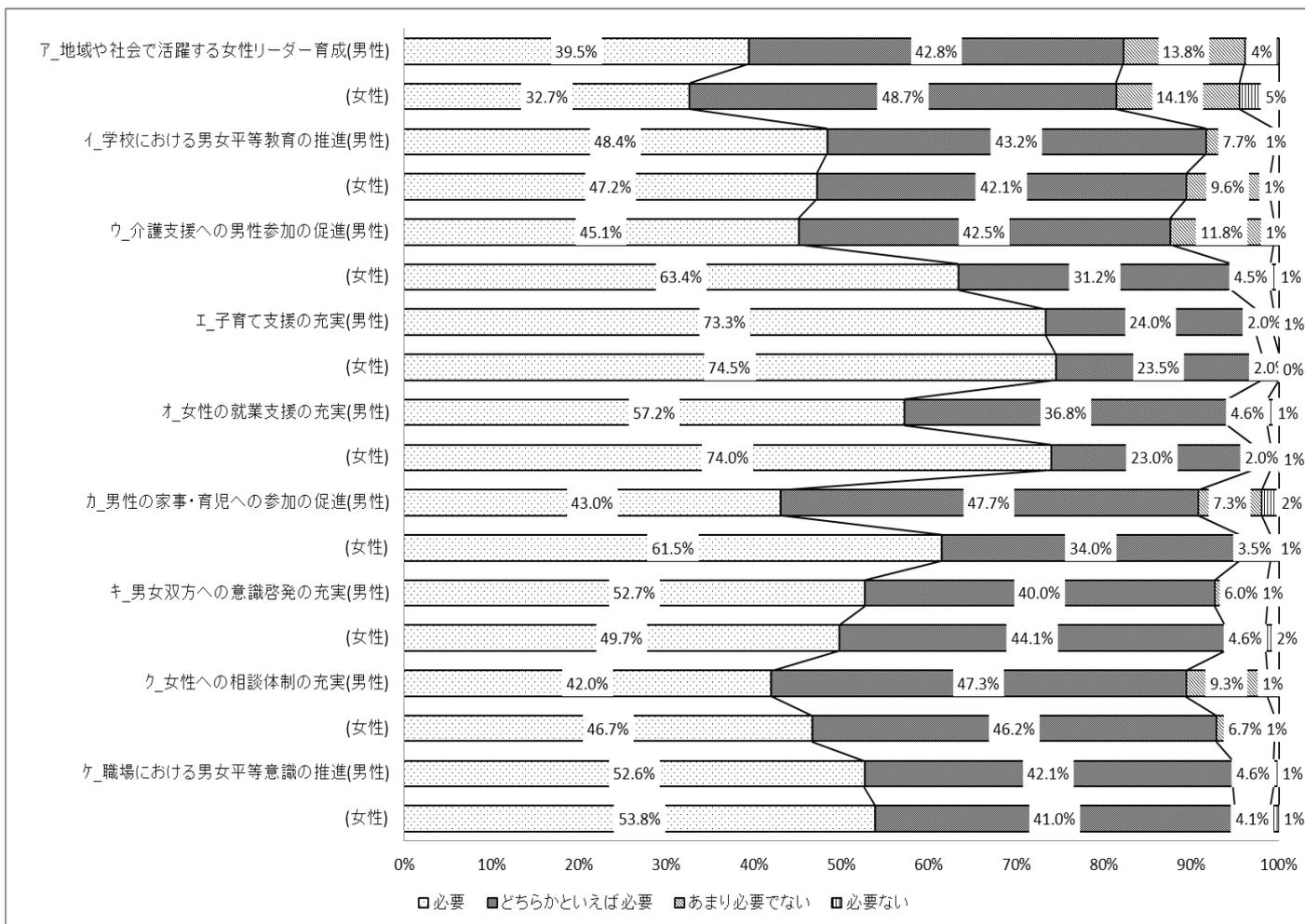
問13 男女共同参画社会を実現するために学校や社会教育の場等でどのような取り組みが必要だと思いますか。(各項目1つ選択)



男女共同参画社会を実現するために学校や社会教育の場で必要な取組	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	(人数計)
ア_教育に携わる人が男女共同参画を理解するための意識啓発(男性)	58.8%	31.4%	6.5%	3%	(153)
(女性)	56.9%	37.4%	5.6%	0%	(195)
イ_幼い(小さい)頃から自立の意識を育み、男女平等を推進する教育(男性)	55.8%	34.4%	7.1%	3%	(154)
(女性)	52.8%	39.2%	7.5%	1%	(199)
ウ_性別にとらわれずに社会の様々な分野に参加可能な学習機会の提供(男性)	64.5%	31.0%	3.2%	1%	(155)
(女性)	65.8%	30.7%	3.0%	1%	(199)
エ_女性の人権の観点からDVなどの予防教育(男性)	52.0%	38.2%	9.2%	1%	(152)
(女性)	55.6%	38.3%	4.6%	2%	(196)
オ_性教育の充実(男性)	45.1%	41.8%	11.8%	1%	(153)
(女性)	48.0%	45.4%	5.6%	1%	(196)
カ_教育現場での相談体制の充実(男性)	56.9%	34.0%	7.2%	2%	(153)
(女性)	65.5%	28.4%	5.6%	1%	(197)

男女とも、㊸性別にとらわれず社会の様々な分野に参加可能な学習機会の提供、㊹教育現場での相談体制の充実が上位を占めている。

問14 今後、寒川町の男女共同参画社会の実現のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。  
(各項目1つ選択)



今後、寒川町の男女共同参画社会の実現のために、力を入れるべきこと	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	(人数計)
ア_地域や社会で活躍する女性リーダー育成(男性)	39.5%	42.8%	13.8%	4%	(152)
(女性)	32.7%	48.7%	14.1%	5%	(199)
イ_学校における男女平等教育の推進(男性)	48.4%	43.2%	7.7%	1%	(155)
(女性)	47.2%	42.1%	9.6%	1%	(197)
ウ_介護支援への男性参加の促進(男性)	45.1%	42.5%	11.8%	1%	(153)
(女性)	63.4%	31.2%	4.5%	1%	(202)
エ_子育て支援の充実(男性)	73.3%	24.0%	2.0%	1%	(150)
(女性)	74.5%	23.5%	2.0%	0%	(200)
オ_女性の就業支援の充実(男性)	57.2%	36.8%	4.6%	1%	(152)
(女性)	74.0%	23.0%	2.0%	1%	(200)
カ_男性の家事・育児への参加の促進(男性)	43.0%	47.7%	7.3%	2%	(151)
(女性)	61.5%	34.0%	3.5%	1%	(200)
キ_男女双方への意識啓発の充実(男性)	52.7%	40.0%	6.0%	1%	(150)
(女性)	49.7%	44.1%	4.6%	2%	(195)
ク_女性への相談体制の充実(男性)	42.0%	47.3%	9.3%	1%	(150)
(女性)	46.7%	46.2%	6.7%	1%	(195)
ケ_職場における男女平等意識の推進(男性)	52.6%	42.1%	4.6%	1%	(152)
(女性)	53.8%	41.0%	4.1%	1%	(195)

男女とも⑤「子育て支援の充実」、⑧女性の就業支援の充実が上位であるが、男性が④「男女双方への意識啓発の充実」を挙げているのに対し、女性は⑥「介護支援への男性参加の促進」⑨「男性の家事・育児への参加の促進」を挙げている。

問15 男女共同参画社会の実現に向けての意見

	意見
1	個人の意識も、もちろん大切だが従業員を雇う経営者を商工会などを通して集め、教育する必要を感じます。セハラ、モハラ、育児休業等の充実等、職場環境は個人では変えられないからです。
2	疑心暗鬼を捨て心を開いて意見を交わす。
3	学校・職場・政治等の公の場における男女共同参画については法整備をするなりして実現すれば良いと思うが、プライベートの家庭内においてはその家族なりに話し合っただけで行政が口を出すことではない。
4	小さい会社では研修の余裕なく●●●●。有給休暇でさえ満足にとれない会社多数のご時世に気の遠くなる●●です。
5	男女平等とありますが、男と女ではどうしても違いがあるので、そもそも「平等」とは何か・・・?と考える。地域の間が気持ち良く暮らせる社会が望ましい。女性は出産で休職はつきもの、社会復帰しやすい環境が望まれる。
6	上辺だけの民主主義はそうそう卒業して、真の民主主義とは?と言うものを特にこれからの人達に勉強してもらいたい。無理かな?今の大人が駄目なものね(自分を含めて)。
7	男性にしか出来ない事、女性にしか出来ない事がある事を忘れず、偏った考えにとらわれずに進めていけば良いと思うが、具体的にはどの様にすれば良いのか不明。
8	子供の頃からそういった教育をしていくしかない。そういった手本となるような取り組みを町全体で行うべき
9	介護を受ける身体になっています。よろしくお願い致します。子供や嫁等が現在生活するのに苦労しています。少しでも良くなる事を祈ります。
10	出産後の女性が働きやすいよう、保育のサービスは充実させてほしい。仕事が決まっても保育園に入れなければ意味がない。
11	若い男女はだいたい男女平等の感はあると思う(子供をみていて感じます)年配の方達が昔から男尊女卑のような社会で育ってきているので、女性に対し見下している感じがある。まずは、年配の方達の平等感の教育が必要だと思う。若い人達が成長し社会で活躍するまで男女平等は難しいと思う。
12	自営業ですので社会への参加は少ないですが我が家族は私にはとても理解が有る。ただ、義理の母がまだ居ますので気を使う事は多く有る。でも理解は大辺有る方ですが、自分の中で嫁はこういうものという意識が有る古い人間です、しかし次のお嫁さんにはこのようにならぬよう心掛けたいと思っています。多くの人色々な話を聞いているので(今の様子)
13	女性に家事、育児、介護の比重がかり過ぎの現状を一刻も早く改善する必要がある。女性が社会に向けて動きやすい体制が殆ど整っていない。保育所、介護施設等の充実が緊急に必要。
14	男の子も女の子も、頑固で優しい子に育てて欲しいです。親はしっかり子供と遊んで、親の介護をする優しい人になるように。
15	男女の人権尊重も必要だと思いますが、女性が男性並の力仕事は限度があり、男性の方が生きる事に関して、力仕事、家事、他、全部有利だと感じます。ただ面倒くさがりでやりたくないんだと思います。今の女性は言葉使いにしても、もう少し女性らしさを求めます。
16	90歳近くの人へのアンケートとして貴重な内容でありませうか。またこのアンケートにかかる税金は有意義な大金と言えるのでしょうか。アンケートの内容の項目の一点一点について問題提起をする相手が極めて無責任で違った方向だと認識すべきです。
17	寒川町はまだまだ昔の風習が見られると感じている。意識がまだ低い気がします。50年前は農業の町だったこともあり、今後を期待したいです。
18	分かりやすいものが一番。
19	現状はまだまだ男社会である。そこに女性が進出するのであれば、女性であるという甘えを捨てるべき。真の男女共同参画社会を実現するのであれば、時間的に制約が発生する。夜を徹してでもやらねばならぬ時、そこまで要求できない常識を変えられるのか。
20	問11について設問が抽象的で答えにくいと感じました。アからクにおける女性の能力って何なのか考えてしまいました。一応回答しましたが。男女に限らず、老若男女各々が伸びやかに生活できる社会になれば良いと思います。職員の方々も大変とは思いますが、がんばって下さい。
21	男女平等の社会になるのは勿論だけど互いの性別の特長、短所を理解し協力を得られる社会の実現をして欲しい。
22	ある程度良いと思います。
23	現在一番世代人口が多い団塊の世代が一番頭が固い。その世代を教育しないとなかなか男女共同参画は浸透していかないと思う。私も子供達に頭が固いと言われる。柔軟と思っているこの私でも。
24	妊娠・出産・育児がバゲイナップになってしまっているが、これがアドバンテージになるといい。子供が増えない事には日本に未来は無いわけだし、女性に優しい社会は皆に優しい社会になるはずと思う。
25	年配の方の中には、まだまだ家の事は全て女性がするべきという考えの方もいる。町ぐるみで意識を変えていくことはより良い家庭環境を作るために良い事だと思います。

26	男女共に家庭地域社会に参加して色々な事を学んでいく事が大切だと思います。
27	男女平等をうたう法ができるが、産休、育児等の休暇の際会社は人員不足になる。その時の法律がない。これでは女性だけを守る法律ではないのか?と思う。女性を守る法律ではなく社会を守る法律・条例を作って欲しい。
28	夫婦ともに正社員として働いており、互いの会社に育児休業制度があるが、男性が取得することにかかなりの抵抗があるようだ。どの会社も制度はあるのに取得する人が殆どいないのは実際、男女平等とは言えない。どうすれば男性でも育休が取れるのかを考えて実行して頂きたい。
29	男女とも意識改革が必要。子供の頃から教え続けることで意識を変える。
30	年令によって男女の考え方が教育で違いますが、男性は年令の多い人程ガンコ、人と接するのが下手、変な自信があり、自分が正しいと思っている人が多いので、男性がこの問題について柔軟な考えを持つ勉強を進めます。
31	男女が対等な立場で地域社会などのあらゆる分野で活動に参画するという事は良い事だと思う。反面女性に対する優遇は今までの慣習から変化し逆に男性が差別されるという事態も考えられると思います。人口減少・貧困、様々な負的要因もあげられる中。住みやすい地域●●を作り上げるにより貢献できる参画社会の実現を望みます。
32	女性が気持ちよく働けるようにして下さい。気持ちの良い職場、気持ちの良い家庭環境
33	一人一人が前に出す必要な事だけ進めて行ければ良いと思う。
34	立場は平等でも、結婚や出産の妨げになりませんか?平等の意見が違うのでは?
35	女性は能力がない・頼りないと思われがち。昔から日本は男は女より偉いという意識が強いし、現在も変わっていないと思う。女性でも能力に長けている人は沢山いるし、女性だからこそ思いつく発想等も沢山ある。女性=弱い・能力がないと思わせる社会の在り方がある日本は遅れていると思う。役職等、女性が選ばれても良いのでは?女性にもっと耳を傾ける社会が必要。
36	問13イのように幼い頃からの教育が必要だと思います。
37	個人的には、周りに存在する訳ではないが、女性から男性へのDVもある。性教育は今の国内の教え方では不足していると思う。避妊→性行為→出産といふうにビデオなり教科書等でしっかりと生々しく教えないとある意味記憶に残らない。性教育をしっかりする事から、DVやセハラ・パワハラ対策に繋がるのではないかと思います。
38	男女平等で女性が働く事は良いが、やはり女性として家族、子供の事を優先すべきと思うので、そもそも完全に平等にするのは難しいと考えます。男女それぞれ意識の差があるのではないのでしょうか?私も働いていますが、家事・育児はきっちりこなし、主人にも毎日健康で仕事に行ってくれる事にいつも感謝しています。主人も私に「ありがとう」と言ってくれます。
39	世間では男女平等と言われているが、現実には男性優位な部分が多々あり自分自身も疑問を感じています。全ての人間は女性から産まれており女性にかなうわけがありません。がんばって下さい。
40	ゆっくりしてはいられない。なるべく早く行動を起こすようにしなければいけないと思います。
41	私自身は家族の協力もあり長く常勤(親の介護が始まるまで)でやってきましたが、人それぞれで結婚・出産・介護など続けていけるか迷う岐路が違うと思うので無理にでも働き続けた方が良いという気持ちはありません。ただフレックスや仕事を分け合う形の形態が多くなれば仕事に就ける人、続けられる人も増えると思います。
42	まずは女性が何事にも積極的な行動を起こす事が必要。女性自身の意識改革を求める。
43	各自お互いを尊重し合う社会が必要だと思います。年令、男女を区別すること自体が遅れているのではありませんか?
44	まだまだ産休・産休が取れても職場内の雰囲気が認めていない企業が多いのが現実です。それを解消するには企業の体制を改める事が必要だと思う。
45	まずは女性自身の意識改革をはかる必要があるのかもしれない。もっと声を上げられる環境を作るべきだが、「どうせ無理」と思っている部分もある。という自戒をこめて。
46	議員も男女比率50%ずつにすれば良いのでは?
47	寒川町の方針を明確にして下さい。介護・保育の充実を願う。
48	とにかく女性が差別を受けていると言われがちだが、生理や体面で周囲が気を使う中、権利のみを強く主張する為、結果的に不平等が出ていると思う。女性と男性の差別は不要だが、区別は必要だと思うので、そういう意味での教育は女性に必要なと思う。男性と同じ仕事を求めておいて男性と同じプレッシャーを受けると「パワハラ」と言い出すのは男女双方に良い結果をもたらさないとと思う。
49	現代社会における日常生活で片方の性の待遇が良い場合があり、偏った傾向がある。男女共同にあたっては男女の公平性を基準にあるべき姿を議論してもらいたい。
50	ボランティアを点数(H)にして、その時間分ボランティア参加した本人が希望の利用できるようにしたらお金もかからず、助け合いの確実な老後の安心が1つでも増して、心が豊かになれるんじゃないかと思いました。
51	日本はまだまだ男女平等とは言えないが、自分の会社を見る限り、女性の向上意欲が足りなく感じる。女性の意欲向上に向けた取り組みが必要と考える。

52	若年層が積極的に意見ができ、その案を確立出来る環境が必要だと思う。老年層が主体となる現状(政治など)だと昔ながらの考えである為、何も変わらない。若年層が主体となり考え立案し実施できる社会が必要。アンケートを取るだけでなく実施する活動目に見える支援じゃないとアンケートも無駄だと思う。
53	正社員で働きながら妊娠と出産後の復職への道筋が立たない業界も多い。妊娠しても体調を第1に正社員でも働く時間が短くできる会社も少ないのでは。小1の壁と呼ばれる子供の預かり時間なども短い為、男女が同じようなペースで働くには親世代に依存し頼らざるを得ない。親世代に頼れぬ人も多いため、参画を促す前に環境整備が先でないといけないと思います。
54	女性の働きやすい環境を作る為には、まず子供関係を充実させて頂きたい。中学校の給食導入等、そうすれば働きに出る際の負担が軽減されると思います。
55	問の必要、どちらかといえば必要等に丸で囲みましたが、意見としてはよくわかりません。
56	自治会での飲食時、女性が配膳を全てやり、男性は何もしません。
57	外社会では、男女共同参画は難しいと思うが、政府の取り組みが必要だ。これらを意識した講演会や活動が必要でしょう。意識改革すべきです。計画的に行う事です。目に見えるようにする事です。
58	家庭や個人の考え、違いがあり、子育て、成長には家庭環境、両親の愛情、会話が必要です。共働き社会になりつつ、忙しく、家庭・子供の成長に不安を感じます。
59	介護に関わる支援や施設を今より充実してほしい。
60	出産して退職した為、次に働く事に弱腰になっている。保育施設や就業時間などについて、もっと知ること、家事・育児の中心が女性中心になっている事を知ってもらい、そこを改善していくことが大事だと思う。出産・育児で社会を離れてしまうと、社会復帰に臆病になってしまうので、支援制度もあるといいと思う。
61	男女共同参画社会の実現に向けてのアンケート調査をする以前にもっとやるべき事を寒川町としてやってほしい。例えば新幹線新駅を倉見に設置する計画が20年以上前にあったが未だに全くと言っていいほど進んでいない。新駅が完成する前に圏央道が開通することが理解できない。もっとまじめに仕事すべき。地域住民に貢献していない。
62	非常に重要とは思いますが、子育ての事などを考えると、現実としては、十分女性が働ける状況になっていないと思う。とりあえず、保育園の待機児童をなくす努力からして頂きたい。
63	正社員で働いていると、小学校のPTA役員を引き受けるのが無理です。各家庭1回は引き受ける事になっており、ずっとやらないと「条件は皆同じなのに」とパート・無職の方達は言います。役員決めの日が苦痛です。PTA制度をどうにかして欲しい。それと女性は定時で帰りやすいですが、男の人も定時で帰り早く家庭に戻れるようにする必要があります。協力出来ない。
64	共に生きていく為、男女協力、お互いの意識を持っていきたい。
65	家庭内の問題より、職場や社会全体から意識し改革していかないと、進まないように思える。寒川町が1つ大胆な事を始め、社会の注目を受け、寒川町の注目に近づけてはどうか。
66	子供を連れて働ける仕事が増えて欲しい。
67	このアンケートをやっている事がまだまだ平等への道は遠いと感じました。女性のリーダー育成を考えていることが女性を下に見てると思います。
68	最近の若い方は育児や家事に協力して下さる方が増えていると思いますが、60代の私達の時代の人は男性はあまり協力してくれなかったと思います。これからの時代には、やはり協力していただけたら良いのでは。
69	男女の能力の差と個人の能力の差と個性と男女平等共同参画、ハラスメント、区別をわかり易くつけられれば良いが、どうも女性過保護になり、能力本位でなくなっている感じがする。これもまた男女平等障害であるように思います。
70	皆さんが知らなすぎます。アンケートだけではアピールが不足だと思います。父母会を地域で活動できるように呼びかけたらいかがでしょうか？
71	まず男性の考え方から変えていかないと、女性がどんなに希望しても何も実現できないと思う。子供の頃からの教育は非常に大切だと思う。
72	職場に戻れるような社会になるといいと思います。
73	男女に関わらず個性の尊重を大切にしたい。
74	男女共同も良いが、女性があまり出すぎると結婚が遠ざかってしまうのでは。私の周りでは男女とも結婚してない人が多い。また子供を育てない人も多いです。
75	暮らしやすく、活気のある町にして欲しいと思います。
76	男女雇用均等法が施行されて20数年経過しますが、女性の職場における機会を平等に与えるべきです。町の町長も助役も男、男社会です。早い時期に町長を女性にすることを選挙を通じて実施に向けて努力したい。なお標題の課題を解決には叫ぶより小さなことから実施すること
77	これからの社会にとっても必要の事だと思います。
78	育児・介護休暇を男性が取りやすい環境を望みます。
79	学校教育の場で保育の学習を受けたほうが良いと思います。
80	この世は男女で協力して生きるべきもの意見が違ってても人を尊ぶ気持ちが大切なので互いに相談しながら認め合う教育が大事です。

81	産後の職場復帰泣く泣く諦めました。寒川に越してきて想像以上に交通網が不便で移動が大変でそういう面からも女性の社会進出を支援してほしい。夕シもなかなかこない、バスも少ない。相模線も淋しい、子連れ外出も大変です。
82	男性は女性の出産・育児・家事全般の大変さを理解し、女性は男性の仕事の大変さの理解が必要だと思います。口で言うのと実際にやるのでは随分違う事だと思います。
83	人権は尊重すること(お互い)は大事だと思うが、女性が社会へ進出しすぎた社会は反対です。働かなければ(家庭におさまっていれば)待機児童の心配もなし。男性の社会への進出を尊重すべき。
84	頭で考えていても文字にして書くのは難しい。
85	50年前は男女の就業について職場の花のようであったら良かったのかも知れないが、現在は自己実現を持って働く女性がいる中で、なかなか実現できない。それを通すと夫婦円満が崩れていく程、時間的に余裕が無く行き違いが生じている。何とかしてあげたい。手の空いている老人はいくらでもいるのでボランティアではお手伝いしてほしい。
86	今回のアンケートに答えるのは大変難しい。町の目標を淡々と進めていくことで良いのではないかと思います。
87	この企画に合うかどうかわかりませんが、寒川には地域集会所での行事がいろいろな形で行われているようです。町でやっているサークル活動をもっと知りたいと思います。サークル活動を知りもっと老人会の皆様を楽しませてあげたいと思います。
88	会社経営者の認識の向上。自治会も同様。
89	男女共同参画＝共稼ぎ世帯の増長。稼げる一方が家計を支え、もう一方が完全に家庭を守る給与レベルが保障されれば、子育て・介護は解消される。すべて行政福祉サービスに頼る現在の政治に問題がある。税金各種保険料は無限ではない。できることは各世帯で出来るだけの賃金を受けられる社会を育てる事力をつくしてもらいたい。
90	急には変えられないので子供の頃からの環境(教育)は大切。
91	社会と個人両方が意識をかためて少しずつ住み良くなればと思います。
92	私の年代(1980年代生まれ)は男女で差別されるという経験はありません。男らしさ、女らしさを上手く活用しながら同じ目線に立っていると思います。ただ、子供を持つと子供の生活リズムにママの夫のスケジュールは合わないの、必然的に妻・母側が仕事や個人の活動をセーブせざるを得ません。男だから女だからということよりも、個人が自分の意思で未来を選べる環境作りが必要と考えます。個人的には、家事、育児は外注し(もちろん親子関係はしっかり作りながら)職を持って稼ぎ、納税をするのがベストかと思います。家事・育児・介護はつきつめればきりがなく、逆もまたしかり。家事は大変なことですが、「働きたくないから」を理由に家庭に入るのはギモンを感じています。将来的にも困るので。
93	男尊女卑が特に日系企業では感じるの、そうでない企業での女性の活躍事例を日系企業にも植える教育、あるいは機会を与えるようにする必要があります。
94	男女共同参画。一家の和栄であることが基本である。
95	世界全体が男女平等にはほど遠いのが現実、少しずつでも平等になることを願うしかありません。
96	この問題を考えるにあたり、共同と平等の意味を明確にする必要があると思います。例えば、力仕事等、男性が有利な仕事では、男女を平等に考えた場合、男性のが優秀となりやすく結果として昇進しやすくなります。男女の違いを認めつつ互いの長所を活かす為に、言葉の定義を明確にすべきかなと思いました。あと私は力仕事ではありませんが、現場を知らない学校の先生等の「理想」は自己満足だと思います。
97	私がパートで働いている職場では男女の差別はほとんどありません。ただ他の会社ではまだまだそのような気風はあると思います。男女ともに育休などがとりやすい社会になると良いと思いますし、男性の意識改善が必要だと思います。
98	まずは受け皿を作ってください。必要としている人はすでに大勢いるのですから。
99	仕事と育児の両立について、誰かの助けを借りたいと思うときがあるが、なかなか機会に恵まれず利用できない。
100	男女共同参画社会について賛成だが、何でも女性を入れれば良いというものでもないと思う。男女のバランスが必要な事もあると思う。私自身古い観念にとらわれており、ある年齢以上の人には急ぐことは無理かもしれない。若い人達が何を必要としているか耳を傾けることが必要としているか耳を傾けることが必要ではないかと思う。
101	子供を預けて仕事できる環境を更に整備することで女性の会社進出をしやすくなると思います。
102	男女平等を特別なものとして扱っており、これではいつまでも達成できないと思います。教育現場で男女で意見を戦わせる事が重要だと思います。また、職場復帰後の昇進に大きな差をつけたい事も重要です。「俺が俺が」と言う男が前面に出ている会社では無理があるでしょう(特に部でもないサービスの女性をどなっている重役のいる会社)。
103	家庭の中で男女がお互いを認め、役割分担して協力する姿勢を作っていくことが大切だと思います。
104	男女共同参画社会について、あまり考える機会がないので、何かしらの場を設けて話し合いができれば良いと思います。(例えば地域の祭りの一画で開催して誰でも気軽に参加しやすいようにする)

105	私達の世代では、まだまだ男女平等ではないように思いますが、これからの世代は女性の社会参画意識は非常に強いと思います。それに応じられる環境作りさえしっかり整えば「男女平等」という単語そのものが不要になると思います。そういう教育が理想だと思います。
106	子育て支援の充実が必要だと思うが、本当の目的も知らない親も多数いるので、意味ないかなと思う所もある。介護の現場でも性別関係なく関わっていくのは当然だと思う。考えはそれぞれ家庭でも違うと思うし、よく分からない。
107	男女関係なくこれからどんどん女性が出るべきです。とても良いことだと70才過ぎた女性でもそう思っております。
108	男女共、自立心が必要だと思います。お互いの立場を理解し協力することは必要です。
109	介護支援の現状は女性に頼る傾向が強いと思われる。男性も積極的に参加する体制を強化する必要があると思う。
110	男女共同参画社会を具体的にイメージする事ができない。このアンケートも答えが決まっている問いかけが多いと思う。
111	理想と現実には差がありすぎると感じています。実現に向けて、現実をもっと深堀し、対策等を打つ必要があると思います。何をやるにもｽﾍﾟｯﾄﾞ感がない。いろんな面で素早い対応を求めます。
112	特定の性のみを厚くすると反対の性への差別に繋がる恐れもありますのでバランスの良い施策を望みます。
113	大人はなかなか変わらない。子供の頃から平等が当たり前と意識付けが大事だと思う。私は基本的に平等と考えているが、企業人の中には外では平等にしているが、企業内ではあきらかに差別している所もある。
114	今は退職し無職なのであまり身近に感じられませんが、男女共同参画と言っても、女性が子育てしながら仕事を充実することはまだまだ難しい環境のような気がします。祖父母の協力が無いと女性が働けない事実が多いのでは?今のような形では益々少子化に拍車がかかると思います。
115	子供が小さいうちは母親(女)が病気(病院)、予防接種などに時間を取られてしまうので、父親(男)の協力があると助かります。
116	雇用機会は平等にあるべき。自治体レベルでは女性の方が多く参加されている実態は雇用の機会の違いに左右されていると考える。寒川町民が寒川で就業している割合はそれほど多くないと思うが、このアンケートが何を結果として得たいのかよく分からない。ちなみに定年退職されている年輩の方々と同列で考えられてはいけないかと思えます。
117	女性も男性と同じように働くようになればいいと思う。性別は関係ないと思う。
118	社会制度の改革。地道に啓蒙すること。
119	女性が社会へ出るには子育てしながらだと保育園や学童の充実が必要です。南小学校区の学童は2年間も待機児童が出たままです。子供を1人にしたくないと職につけない女性も多いです。そういう施設を充実させないと共同参画社会の実現は難しいと思います。
120	統計だけ取っても、何も変わりがないです。町内の共同参画が進むとは思いません。質問内容だけを付け替えて選ぶ回答が同じというのも戸惑います。功切右から左へ貼り付けるように、社会は男女の考えは単純ではありません。今までの町の発展に携わるという名目で何通かアンケートがきて回答していますが、この何年間あまり良くなった実感はありません。印刷するだけの仕事は経費の無駄ではないのですか?
121	そもそも男と女は違うと思う。全て平等という事がおかしい。最近自分の言い分ばかり言う女性が多くなったと思います。自分の母は農家に嫁に来て本当に耐えて、がんばってきたのを見てると、今の女性は耐えてがんばるという気持ちが無い。あくまで行政は権利と義務を教育すべきだと思います。
122	1. 個人の自立。2. 家庭生活の建設。3. 地方共同社会存在の連帯感。4. 自衛と経済の国民意識を持つこと。
123	行政主導の対策が必要。
124	町をあげて協力盛り上げてほしい。プラだけでは駄目、実行あるのみ。
125	色々の人の意見をお聞きしたり、お話をしますが、なかなか自分の意見を未だはっきりできなく色々考えてます。人の心を大事に考えて、皆が楽しく良い社会に生活できるようにこれから私も色々本を読んだり他人のお話を聞いたりしていきたいと考えております。
126	人間としての思いやりの心があれば助け合って社会でも職場でも家庭でも実現できるといつも思っています。
127	男性・女性とかでは無く、人間みな思いやりを持って生活することが大事では?
128	真の男女共同参画社会実現させるのは容易ではないと思う。アンケートの目的に「男女が共に人権を尊重し…」とありますがそれは当然のこと。ただ性差を無視することはできない、また設問の多くが女性が働き続ける事に重点が置かれていると感じ、それは問6、7の社会構造が整ってこそ実現するものと思うし、何よりも今を生きる人々の意識改革が最も重要なのではと思います。
129	私は小さい子供が3人います。子供に「おかえり」と言ってあげたいので、子供が学校に行っている間の時間帯に働ける場が増えてくれたらと思います。9:00~2:00までのみ(土日×)の採用が多い所に援助を出すとか?なーんて甘いですよね。
130	自然の生活の中であまり強制はしない方が良いと思います。

131	男性優位社会は男性が押しつけているものばかりでは無く、女性の甘えも有るかと思いません。権利だけでなく、責任を積極的に受け入れる心構えが人間にとって必要な心構えであり、そういう人が増えれば男女差は無くなっていくと信じています。
132	男女に差別をつけてはいけません。男性は女性をいたわり女性が常に明るく暮らすことができる社会システムを構築する必要があります。
133	あまり声高に推進するのではなく穏やかに、そして女性を弱い立場と決めつけず、女性自身も強い自立心を持つようになれば良いと思います。
134	昔に比べて男女差別は少ないと思うが、なかなか無くならないのが現状です。夫婦共働きでも子どもが熱出した等でお迎えに行くのは母親が多いと思いますし、子どもが病気でやむをえず仕事を休まなければいけなくなって職場の人に迷惑をかけてしまったり、母親が仕事をするには本当に大変な事が多いと思います。保育園児も幼稚園児も小学生も利用できる【病後児保育】を寒川町内に作って頂きたいです。そうすれば、近くに子どもを預ける所(実家等)がなくても働けなかったお母さんも働きやすくなると思います。よろしくお願ひします。
135	寒川町の活力維持のためにも必要な事と考える。
136	性別に関係なく皆が等しく自らのワークライフバランスを自ら主導権をもって決定できる会社を望みます。その点においては特に教育現場で若い世代への働きかけ、啓発活動から始め、その他の世代へと広げていくのが良いかと考えています。
137	自分は60才を過ぎてそれほど社会に関連していないけれど、子供や孫の事を考えると男女共同に向かって欲しい。
138	男女共同体であることを子供の頃から自然に身に備わっていくようになる教育がいいと思います。
139	小さな子供がいても働ける会社を増やして欲しい。公立の幼稚園を作って平等な学校生活を送れるようにしてほしい。
140	最近カタという言葉を耳にするようになりました。子供(人)を育てるということは、とても大変なことです。自分の意志で働きたいという人もいれば、働かざるを得ない人もいます。多くの女性が働きやすい環境にする為に、制度も必要ですが男女共に未婚者、既婚者も子育てに対する理解をする必要があると思います。特に日本は意識がまだまだ低いので、もっと関心を持ってほしいと願ひます。
141	女性議員半数を
142	まだまだ男尊女卑の考えが根強い日本。学校生活でとても優秀な女性は、社会生活で、その能力を活かしてもらえず、女性ということで厳しい環境の中に立たされる。その為には行政も地域社会ももっとバックアップしていくべき。女だからという考えでなくその人に合った社会生活ができるよう寒川町の行政に期待しています。
143	老若男女とわず生活しやすい寒川町に
144	日本的な古い考えが残っている限り、なかなか難しいところもあると思います。
145	思いやりと協調性が必要です。
146	女性の社会進出機会の場も多くなり、支援システムも構築されてきた。しかし、現実には仕事と家庭の両立には葛藤があり、議論しても解決しない。せっかくのシステムを活用する余裕がないからである。これは労働生産性が低すぎることに起因する。女性の働きやすい職場を提供し続けることと労働生産性を上げるべくあくなき改善努力をし時間をつくり出す以外に解決策はないと思う。
147	共同参加できる場を小単位で設けること。ボランティアに参加すること。
148	社会的には男が上で女が家庭を守る考えが強いと思う。子供が小さい頃から男女間の差別を無くす教育が必要。家庭内を円満にするには家での男性の行動が大事。これからは女性も外で働きやすいように子育てで支援が必要。
149	最近はいよいよ女性の立場が見直され女性が働きやすい環境になってきたと思いますが、出産・子育て後の職場復帰など、まだまだ難しい面が有るように思います。家庭・職場・地域・社会での理解を求めます。
150	老人だからなんとも言えない。
151	何事も真実に合わせて考えていけば自然になすべき事、してはならない事がわかるはず。それは各自の環境によるので仕方ないと思う。全ての決め事は正しい真実の基本から学び決められていくものだと思う。
152	「女性のリーダーが増えれば良い」という単純な問題ではないと思う。家事・育児・介護等は家庭間で問題なく平等にできていれば、第三者等が口を出す必要もない。女性が…、男性が…と不満がどこかであるなら、それぞれの特性を考慮し解決に向け話し合いが必要だと思う。
153	大人になってからだとなかなか考え方を変えるのは難しいと思うので、現代の子には幼い頃から自立意識や男女平等を推進する教育を受けてもらいたい。